

## 第46回定時総会を開催

全日本一般缶工業団体連合会

全日本一般缶工業団体連合会は令和6年6月7日、東京・文京区湯島の鉄二健保会館で第46回定時総会を開催した。出席者は理事7人、監事1人の計8人。

始めに清水雄一郎会長が挨拶したのち、野口雅春専務理事が出席状況を報告した。続いて清水会長が議長となり「令和5年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」「令和6年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件」「全日本一般缶PR活動推進協議会の件」が上程され、いずれも原案通り可決承認された。安藤宏行副会長が閉会の辞を述べ終了した。

## 会員組合通常総会報告

東日本一般缶工業協同組合

東日本一般缶工業協同組合は令和6年5月17日、東京・文京区湯島の鉄二健保会館で第46回通常総会を開催した。本人出席14人、委任状出席15人の総計29人が出席した。

はじめに中田則彦副理事長が開会を宣し、最上裕光理事長が挨拶したあと議長となり議案の審議に入った。第1号議案「令和5年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」、第2号議案「令和6年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件」、第3号議案「令和6年

## 令和6年度事業方針

一般缶業界は令和5年度の生産及び販売実績が前年度比99.9%と非常に厳しい結果となっていることから、今年度も予断を許さない状況が見込まれる。

一般缶PR事業では、持続可能な社会の実現に向けた環境展「エコプロ2024」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展し、リサイクルの優等生である一般缶の環境特性を3R (Reduce, Reuse, Recycle) の面から一般消費者等にアピールする。また、平成16年7月に「エコロジーレポート」として創刊(平成22年に「優CANレポート」に改題)し第43号で休刊していた「優CANレポート」の発行を再開する。さらに本連合会制作の動画『人の技と夢が詰まった一般缶』『小学3年生社会科出前授業』のQRコードを使い、その活用推進を図る。広報事業では、ホームページのフルリニューアル完了に伴い組合員専用ページを通じて一般缶業界の広報に努める。教育情報事業では、「誰でもできる! 生成AIを使った仕事活用術」をテーマに「一般缶イノベーションフォーラム2024」を、また、本年度で第47回を迎える全国流通委員会・部会協議会は、東京を開催地とし「中小企業の賃上げ実態と取組事例」をテーマにそれぞれ開催する。さらに情報提供事業として「連合会ニュース」を2回発行するとともに一般缶業界に関連した情報を適宜収集・提供する。

このほか、調査研究事業では「景気動向等アンケート」及び「一般缶鉄鋼月報」の取りまとめを行い、業界動向の把握に努める。

度借入金残高の最高限度決定の件」が上程され、いずれも原案どおり可決承認された。竹内雅夫副理事長が閉会の辞を述べ終了した。

西日本一般缶工業協同組合

西日本一般缶工業協同組合は令和6年5月22日、大阪市北区のANACPホテルで第56期通常総会を開催した。出席者は委任状を含め18人。

清水雄一郎理事長が議長となり「令和5年度事業並びに決算報告書承認の件」「令和6年度予算案並びに事業計画承認の件」が上程され、いずれも原案通り可決承認された。また「役員選任の件」では、理事1名辞任に伴う補充選挙が行われ、指名推選制により、江戸川製罐工業(株)の渡邊達也氏が選任された。

中部製罐工業協同組合

中部製罐工業協同組合は令和6年6月3日、名古屋市中村区・OKBハーモニープラザで第74回通常総会を開催した。出席者は6人。

安藤宏行理事長が開会を宣し挨拶したのち議長となり、第1号議案「令和5年度決算関係書類及び事業報告書承認の件」、第2号議案「令和6年度事業計画及び収支予算の件」が上程され、いずれも原案通り可決承認され、第74回通常総会を終了した。

# 一般缶インノベーションセッションフォーラム 2024を開催

全日本  
一般缶工業団体  
連合会

## 第1部 特別 講演

(一社)ビジネスマーケティング推進機構  
柳井みう代表理事

## テーマは 「誰でもできる！ 生成AIを使った仕事活用術」



特別講演 講師 柳井 みう 氏

## 第2部 交流パーティー



来賓挨拶  
鍋島 学 金属課長



主催者挨拶  
清水 雄一郎 会長



乾杯 東洋鋼鈹(株)  
河村 和彦 缶材営業部長



中締め  
最上 裕光 副会長

全日本一般缶工業団体連合会は令和6年7月5日、東京・千代田区大手町のLEVELEX X I 東京會館で「一般缶インノベーションフォーラム2024」を開催し、会員会社など53社・108人が参加した。渋谷剛志運営委員が司会を務め、主催者を代表し清水雄一郎会長が「一般缶フォーラムは学びの場を提供しているが、学びというものは面白くもあり怖いものもあり、学ばないと世の中で起きていることを知らずに経営や営業活動することになり危険だ。今回の学びが各社の役に立ち業界の活性化につながる場にして欲しい」と挨拶した。第1部は一般社団法人ビ

ジネスマーケティング推進機構の柳井みう代表理事が「誰でもできる！生成AIを使った仕事活用術」と題し特別講演を行った。柳井氏はOpenAI社が開発した自然言語処理技術「ChatGPT」の説明から入り、核心的な部分である仕事活用術については、「返答作業にかかる時間の大幅短縮や人手による返答作業の負担軽減、同作業を外注している場合はコスト削減ができ、さらには事前に学習した大量のデータを基に返答を生成するため、専門知識や経験が不足している場合でも正確な情報を提供してくれる」と解説した。終わりに「経営者の皆さんには是非利用して欲しい」と結んだ。

続く第2部の交流パーティーでは来賓を代表し経済産業省製造産業局金属課の鍋島学課長が「コロナ禍では一般缶の需要も減少し大変であったと思うが、最近ではコスト上昇や人手不足の中にあっても色々な取組を進められており、これからも素晴らしい一般缶づくりを続けて欲しい」と挨拶した。続いて東洋鋼鈹(株)缶材営業部の河村和彦部長が乾杯の発声に先立ち「私は缶材営業部に長く携わっており一般缶には並々ならぬ愛着を感じている。一般缶は色々な分野の内容物を守る容器として機能性に優れており、現役を退いた後でもその気持ちを持ち続けるだろう。今後、製造の効率性や市場開発

などにAIの技術を味方につけたい」と挨拶した。歓談のあと最上裕光副会長が「30〜40年先、一般缶業界はどうなっているかは分からないが、この先皆さんと一緒に力を合わせて努力すれば発展の余地はあり、その可能性を信じていきたい」と中締めの挨拶を行い散会した。



司会者  
渋谷 剛志 運営委員



熱心に聞き入る参加者の皆さん



## 合同部会・ 技術交流会 を開催

西日本一般缶工業協同組合は令和6年1月24日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウイーナ大阪で営業・製造担当者で合同部会を開催した。

出席者は9人。内容は以下の通り。

### 1 1年間を振り返っての業況と今後について

- \* 鋼材の値上げ・価格転嫁への対応は、昨年でほぼ終わり一段落している。
- \* 売上げは各社とも前年比プラスの実績。コロナ禍での期間が悪かったので、ようやくコロナ禍前の実績に戻ったが、利益は減少している。
- \* 副資材、印刷、ダンボールケース他の値上げへの対応で若干の積み残しもある。
- \* 缶ブームの中で菓子缶が好調である。
- \* 塗料・化学関係他は堅調である。
- \* 金型メーカーが不足している。作るハードルが高くなっている。自社で作ることも進めているが、より技術力を上げていかなければならないと考えている。

### 2 物流の「2024年問題」に向けての対応について

- \* 会社へどのように影響があるかは、いろいろ考えられるが、具体的な対応はまだ考えていないというのが現状である。
- \* 待機時間の問題、コンテナへの移行等の検討を行っている。
- \* トラックドライバーの収入が減ることになれば、なり手が少なくなり、その影響が出てくる。これからの状況を把握する必要がある。

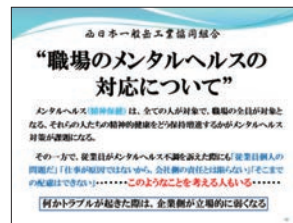
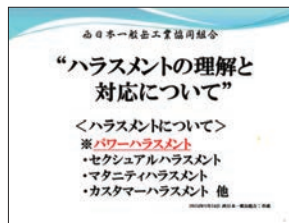
- \* ドライバーを有す場合の影響と荷主の支払う運賃等への対応で会社の収益にも影響してくるのではないかと。

### 3 電力・エネルギー他の節減対策/工場への影響について

- \* 電力の契約形態を見直すことで、節電効果を計っているが、料金の値上げは大きい。
- \* 費用対効果を長期間のスパーンで検討していかなければならない。
- \* 節電は常日頃行っている。

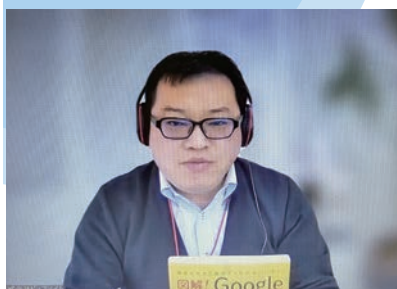
### 4 労働問題に関する種々の対応について

- \* ハラスメントへの理解と対応について
- \* 職場のメンタルヘルスについて



- \* 労働問題に関する発表が2件あった。
- \* 2022年4月から、すべての事業主にパワーハラスメントの防止が義務付けられた。
- \* ハラスメントへの理解と対応については、ハラスメントの法律上の定義「判断と対応」「対処についてと防止措置」等が説明された。
- \* 職場でのメンタルヘルスについては、職場全員のメンタルヘルス（精神保健）を保持増進するために、厚生労働省による「労働者の心の健康保持増進のための指針」による心の健康づくりを進めるとともに、予防のために事前に察知することを基本とすることが説明された。

## 「表計算ソフトを活用した業務改善」をテーマに開催



稲葉講師によるWebセミナーの様子

東日本一般缶工業協同組合は人材育成委員会（委員長・最上裕光 最上CAN(株)社長）の企画でZoomを活用したWebセミナー「表計算ソフトを活用した業務改善」を開催した。参加者は12社17人。講師はポリテクセンター茨城・生産性向上人材育成支援センター・事業主支援相談員の稲葉和博氏。講義は①クラウド・Googleスプレッドシートとは②Googleスプレッドシートの基本操作③Googleフォームとの連携を中心に進められた。終了後の受講者アンケート結果によると、セミナー参加者の全員が「大変役に立った」と「一役に立った」と回答した。その理由を尋ねたところ「新たな知識・技能を習得できた」が最多で、次に「業務に役立てることができる」「専門的な知識・技能を習得できた」とする回答が続いた。

## 第43回優良従業員表彰式を開催

## 優良従業員6人が栄えある理事長表彰を受賞

東日本一般缶工業協同組合は令和6年2月9日、東京・中央区の明治座「菊の間」で第43回優良従業員表彰式を開催した。

表彰式は神宮善太郎運営委員長の司会で進行。竹内雅夫副理事長が開会の辞を述べた。続いて最上裕光理事長は「一般缶は各事業所の従業員の皆様の力によって生み出されており、感謝の気持ちが湧いてくる。皆様の仕事は日々地味な努力の継続ですが、その努力が日本の製造業の品質や生産性を支えている。今後、当業界も難しくなってきた人材の採用や育成、技術及び製品開発など時代の変化に合わせた取組を行っていききたい。これを実現するには皆様の力添えが欠かせない」と挨拶したのち、受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が手渡された。受賞者を代表して金方堂松本工業(株)安行工場生産管理課の風間健司係長が謝辞を述べた。来賓として東京都産業労働局商工部の奥村真宏経営支援課長、東京都中小企業団体中央会の橋北隆総務課長から祝辞が述べられた。最後に廣濱泰久理事長が閉会の辞を述べ、記念撮影ののち表彰式は終了。そのあと受賞者は明治座150周年ファイナル公演『メイジザ・キャッツアイ』を楽しんだ。



受賞者は以下の通り。(敬称略)  
風間健司(金方堂松本工業(株))、秋山浩(同社)、小松崎重範(東邦金属工業(株))、吉川基喜(同社)、田代翔子(株ヒロハマ)、木内秀子(同社)

## 合同部会を開催

西日本一般缶工業協同組合

西日本一般缶工業協同組合は令和6年6月3日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウイーナ大阪で合同部会を開催した。出席者は6人。内容は次の通り。

### 1 各社の近況報告

\* 本年2月以降での各社の近況報告について、昨年までの鋼材値上げ対応は、ほぼ終了した。

\* 今後も原材料のコストアップ等への対応をしていかなければならない。

### 2 物流の『2024年問題』への対応

\* 本年4月より施行後の取組状況等の情報交換を行った。各社で対応が違って来るが、運転手の待ち時間等への対応が求められている。

\* 先行きでの繁忙期で、コンテナ等の必要な時期を確保していかなければならない。

\* 現状では、特にマイナスイ面は出ていないが、日数が経つにつれて物流のコスト面(ドライバーの労働時間確保等)に影響が出てくる懸念される。

### 3 全国流通委員会・部会協議会の討議事項の事前打合せ

\* 開催要領を説明した。

\* 討議内容での生産性向上の取組としては、働き方改革の一環としてとらえ、待遇面(休暇の取得等)の充実や人員の確保によって、生産性向上を図ることも必要である。

### 4 その他

\* 見学会(鉄鋼メーカー)を来年実施し、て欲しいとの要望があった。



合同部会参加の皆さん



# エコプロ2024に共同出展します!

会期:令和6年12月4日(水)~6日(金) 10:00~17:00

会場:東京ビッグサイト東ホール

全日本一般缶工業団体連合会はエコの最前線が集結し、持続可能な未来を拓く社会課題解決に向けた展示会「エコプロ2024」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展します。

本展には環境への関心の高い一般消費者やビジネスパーソン、行政・自治体など環境を取り巻く多様なステークホルダーが一堂に集います。

この出展を通じて、さまざまな容器包装材がある中で、2022年度リサイクル率が92.7%（2011年度から12年連続90%以上を達成）を誇る一般缶（スチール缶）は循環型社会の優等生であることを広くPRします。



エコプロ2023出展ブースの展示コーナー

## 全日本一般缶工業団体連合会

最後に安藤副会長が閉会の辞を述べ終りました。

報告した。の討論結果を

このあとグループ討議に入り、3グループごとに①各社の生産性向上の取組②賃上げの現状③原材料（鋼材及び印刷代）のコストアップの状況について報告された。まとめとして、Aグループ長の(株)ゼンユー山本正和氏、Bグループ長の金方堂松本工業(株)福島義昭氏、Cグループ長の水戸部製缶(株)水戸部伸寿氏がそれぞれの討論結果を報告した。



分かりやすく講演を行う船越講師

## 第47回全国流通委員会・部会協議会を開催

全日本一般缶工業団体連合会は令和6年6月7日、東京・文京区湯島の鉄二健保会館で第47回国流通委員会・部会協議会を開催した。今回は東日本組合（当番）、西日本組合、中部組合から合わせて16人が出席した。

最初に清水雄一郎会長が挨拶したのち、船越経営労務事務所代表の船越良人氏を講師に迎え、「中小企業の賃上げ実態と取組事例」をテーマに講演が行われた。

次いで全体会議に入り、東日本組合の中田則彦副理事長、西日本組合の清水雄一郎理事長、中部組合の安藤宏行理事長がそれぞれの近況を報告した。

## 全日本一般缶工業団体連合会

### 一般缶ホームページ 令和6年4月17日に フルリニューアルをアップ

全日本一般缶工業団体連合会は、全日本一般缶PR活動推進協議会（委員長／水戸部伸寿・水戸部製缶（株）社長）で昨年度から進めていた一般缶ホームページのフルリニューアルについて、従来の“組織紹介”という立ち位置から、需要家の一般缶選択への入口（案内板）となり、組合員各社への問い合わせ数が増加することを目的に行ってきたところ、令和6年4月17日に完了し、同日アップした。新ホームページの構成は「ニュース一覧」「私たちについて」「一般缶とは」「製造業者検索」「SDGs・エコの取り組み」「組合員一覧」「お問い合わせ」「組合員のページ」となっている。



一般缶ホームページのトップ画面

## 全日本一般缶工業団体連合会

### 「優CANレポート」発行を再開

全日本一般缶工業団体連合会は平成26年10月1日発行を最後に休刊していた「優CANレポート」を令和6年4月から再開した。同レポートは一般缶の優れた特性を掘り下げた内容の読み物として3カ月毎に1回発行していく。

再開後の執筆担当と表題は次の通り。

〈令和6年4月1日号〉

水戸部製缶(株)「一滴で世界を動かせ～カントーカセイ(株)の潤滑剤の缶」

〈令和6年7月1日号〉

大阪製罐(株)清水雄一郎「お菓子缶が喜ばれる理由(ワケ)」

〈令和6年10月1日号〉

マキノ製缶(株)「地球環境に優しい缶づくり」



**全日本一般缶工業団体連合会**  
 会長 清水雄一郎  
 副会長 安藤宏行  
 副会長 最上裕光  
 東京都台東区浅草橋五丁目一五  
 ハシモトビル五〇二  
 電話 〇三(五八〇九)三二二六  
 電話 〇三(五八〇九)三二二六

**水戸部製缶株式会社**  
 代表取締役社長 水戸部伸寿  
 東京都千代田区神田和泉町  
 電話 〇三(三三六六)一一六六  
 FAX 〇三(三三六六)二二三八八

**株式会社ヒロハマ**  
 代表取締役社長 廣濱庄一郎  
 東京都墨田区石原二丁目一八  
 電話 〇三(三六二五)一六八〇  
 FAX 〇三(三六二五)一六八八

**下宮金属工業株式会社**  
 代表取締役 下宮正裕  
 大阪府堺市堺区南島町三丁目一  
 電話 〇七二(二二三) 八一二〇  
 FAX 〇七二(二二三) 八一四〇

**日本製鉄株式会社**  
 代表取締役社長兼COO 今井正  
 東京都千代田区丸の内二丁目一  
 電話 〇三(六八六七) 五九〇九  
 FAX 〇三(六八六七) 四九九六

**東日本一般缶工業協同組合**  
 理事長 最上裕光  
 東京都台東区浅草橋五丁目一五  
 ハシモトビル五〇二  
 電話 〇三(五八〇九)三二二六  
 FAX 〇三(三三六六) 〇九一一

**工又工金属工業株式会社**  
 代表取締役社長 中田則彦  
 茨城県つくば市緑ヶ原四丁目一六  
 電話 〇二九(八四七) 七二二〇  
 FAX 〇二九(八四七) 六七七九

**大阪製罐株式会社**  
 代表取締役社長 清水雄一郎  
 大阪府東大阪市岩田町二丁目二八  
 電話 〇六(六七二三) 五五四五  
 FAX 〇六(六七二五) 三四七〇

**株式会社ゼンユー**  
 代表取締役社長 砂川秀樹  
 大阪府大阪市淀川区加島  
 電話 〇六(六三〇九) 四〇三一  
 FAX 〇六(六三〇二) 二一〇〇

**JFEスチール株式会社**  
 代表取締役社長 広瀬政之  
 東京都千代田区内幸町二丁目一三  
 電話 〇三(三五九七) 三一一一

**西日本一般缶工業協同組合**  
 理事長 清水雄一郎  
 大阪府大阪市北区天神橋  
 二丁目一七 千代田第一ビル  
 電話 〇六(六三三三) 一九七三  
 FAX 〇六(六三三三) 一九六七

**江戸川製罐株式会社**  
 代表取締役 岩田明義  
 東京都江戸川区平井五丁目一五五  
 電話 〇三(三六一二) 四一三一  
 FAX 〇三(三六一七) 五〇三四

**生野金属株式会社**  
 代表取締役 小西康晴  
 大阪府高石市高砂三丁目二四  
 電話 〇七二(二六八) 〇七七七  
 FAX 〇七二(二六八) 〇七八二

**日西製罐株式会社**  
 代表取締役 矢谷満里子  
 大阪府大東市御領三丁目一〇  
 電話 〇七二(八七四) 〇九七一  
 FAX 〇七二(八七五) 四二五二

**東洋鋼板株式会社**  
 代表取締役社長 甲斐政浩  
 東京都品川区東五反田二丁目一八一  
 電話 〇三(四五三二) 六八六〇  
 FAX 〇三(三三八〇) 八一六〇

**中部製罐工業協同組合**  
 理事長 安藤宏行  
 愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
 電話 〇五六四(五一) 一五六一  
 FAX 〇五六四(五一) 一五六三

**株式会社神宮製作所**  
 代表取締役 神宮芳次郎  
 千葉県野田市上三ヶ尾二六一  
 電話 〇四(七二二五) 一一二六一  
 FAX 〇四(七二二五) 三六三七

**明和金属工業株式会社**  
 代表取締役 渋谷剛志  
 大阪府高石市取石七丁目一六一  
 電話 〇七二(二七四) 二二〇一  
 FAX 〇七二(二七四) 六三六五

**三国金属工業株式会社**  
 代表取締役社長 板垣毅  
 大阪府豊中市豊南町西四丁目二〇  
 電話 〇六(六三三三) 〇二五一  
 FAX 〇六(六三三四) 〇二五五

**全日本金属印刷工業協同組合連合会**  
 会長 中田正和  
 東京都墨田区業平一丁目二六  
 本所ビル二階  
 電話 〇三(三六二六) 二四一一  
 FAX 〇三(三六二六) 二五〇二

**最上CAN株式会社**  
 代表取締役 最上裕光  
 埼玉県久喜市清久町二丁目一三  
 電話 〇四八〇(九六) 一六九〇  
 FAX 〇四八〇(九六) 一七四三

**株式会社東都製缶**  
 代表取締役 横川達也  
 埼玉県吉川市土場九三  
 電話 〇四八(九八一) 〇四七一  
 FAX 〇四八(九八一) 〇四七六

**江戸川製罐工業株式会社**  
 代表取締役社長 渡邊達也  
 大阪府大阪市鶴見区今津北  
 電話 〇六(六九六八) 六七六一  
 FAX 〇六(六九六二) 三二五八

**山雄製缶工業株式会社**  
 代表取締役 山本浩之  
 大阪府大阪市北区大淀中  
 電話 〇六(六四五二) 五一四一  
 FAX 〇六(六四五二) 〇八二一

**東京都鋳力地金商業協同組合**  
 理事長 松苗昭文  
 東京都中央区日本橋大伝馬町一丁目七  
 電話 〇三(三六六三) 八三三七  
 FAX 〇三(三六六三) 八三三八

**金方堂松本工業株式会社**  
 代表取締役社長 松本旭央  
 東京都台東区東上野一丁目二八  
 電話 〇三(三八三三) 一一九一  
 FAX 〇三(三八三三) 七二四四

**東邦金属工業株式会社**  
 代表取締役社長 吉田亜津史  
 東京都江戸川区松島四丁目一七  
 電話 〇三(三六五四) 八九一一  
 FAX 〇三(三六五五) 七三三八

**奥村製罐株式会社**  
 代表取締役 奥村清司  
 京都府綴喜郡井手町大字多賀小字  
 西松ヶ花一  
 電話 〇七七四(八二) 二〇七八  
 FAX 〇七七四(八二) 四三三四

**有限会社山野初製缶所**  
 代表取締役 木下光美  
 大阪府八尾市太田七丁目一〇  
 電話 〇七二(九四八) 〇五五八  
 FAX 〇七二(九四八) 二八五五



**中村商事株式会社**  
代表取締役社長 中村 定  
東京都千代田区神田和泉町一七七一  
電話 〇三(五六八七) 五九一一  
FAX 〇三(五六八七) 六一五五

**富安金属印刷株式会社**  
代表取締役社長 菊井洋祐  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二五) 一五八一  
FAX 〇四八(九二八) 二六二〇

**松本金属工業株式会社**  
代表取締役社長 松本勝俊  
大阪府大阪市北区  
天満二一三二一八  
電話 〇六(六三三三) 〇九四一  
FAX 〇六(六三三三) 九四四九

**株式会社 セゾン保険サービス**  
代表取締役社長 渡邊美彦  
東京都豊島区東池袋四二二一  
アウルタワー四階  
電話 〇三(三九八八) 八三三二  
FAX 〇三(三九八八) 六九八四

**株式会社ライトハウス 金属工場**  
代表取締役社長 岩橋 徹  
大阪府大阪市鶴見区今津中  
二一四一三四  
電話 〇六(六九六三) 〇四四一  
FAX 〇六(六九六八) 二二九八

**スチールリーフ株式会社**  
代表取締役社長 茂木孝之  
東京都葛飾区亀有五十四八一五  
電話 〇三(三六二〇) 八〇三〇  
FAX 〇三(三六二〇) 八〇六〇

**二橋プリント株式会社**  
代表取締役社長 二橋英之  
埼玉県三郷市彦川戸一三八一六  
電話 〇四八(九五三) 二二六二  
FAX 〇四八(九五三) 五四二一

**株式会社井上博商店**  
代表取締役社長 井上歩美  
大阪府大阪市住吉区万代東  
一一一四〇  
電話 〇六(六六九二) 一一二五  
FAX 〇六(六六九二) 一一二七

**千代田第一工業株式会社**  
代表取締役社長 鈴木信夫  
東京都狛江市岩戸北三一一一九  
電話 〇三(三四八八) 四二二一  
FAX 〇三(三四三〇) 〇四三七

**光工業株式会社**  
代表取締役社長 吉田龍一  
広島県東広島市志和町冠  
一一六五一二  
電話 〇八二(四三三三) 五四〇一  
FAX 〇八二(四三三三) 五四五三

**エイコー株式会社**  
代表取締役社長 菊井 治  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二二) 八三七三  
FAX 〇四八(九二二) 八三七五

**株式会社 城北鋳力印刷工業所**  
代表取締役社長 竹腰忠臣  
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一一  
電話 〇四(七一八九) 二六一一  
FAX 〇四(七一八九) 二七七九

**是松鋼商株式会社**  
代表取締役社長 是松一郎  
大阪府東大阪市楠根二丁目六一三  
電話 〇六(六七四八) 二三六一  
FAX 〇六(六七四六) 〇四〇〇

**日東製罐販売株式会社**  
代表取締役社長 安藤宏行  
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五一) 一五六一  
FAX 〇五六四(五一) 一五六三

**株式会社MOBY**  
代表取締役社長 石原拓大  
千葉県市川市塩浜一一一四  
電話 〇四七(三〇六) 〇二一〇  
FAX 〇四七(三〇六) 〇二一九

**株式会社江連金属印刷所**  
代表取締役社長 江連 一  
千葉県松戸市上本郷八一  
電話 〇四七(三六二) 〇一三五  
FAX 〇四七(三六二) 八七二五

**三幸商事株式会社**  
代表取締役社長 武田有広  
大阪府大阪市西区北堀江  
一一三二一四  
電話 〇六(六五四一) 九三三一  
FAX 〇六(六五四一) 三五八八

**高野興業株式会社**  
代表取締役社長 高野康弘  
東京都墨田区本所一―二―一三  
電話 〇三(三六二二) 一一六六  
FAX 〇三(三六二二) 六二六四

**大成ブリキ印刷株式会社**  
代表取締役社長 中田正和  
茨城県稲敷郡河内町長竿  
富田四四六二  
電話 〇二九七(八六) 二二〇一  
FAX 〇二九七(八六) 二四二〇

**新里機工株式会社**  
代表取締役社長 金澤幸一  
埼玉県川口市東領家四―七―一  
電話 〇四八(二九二) 九〇九七  
FAX 〇四八(二九二) 九〇九八

**西部容器株式会社**  
代表取締役社長 川島大吾  
大阪府摂津市別府二―三―一八  
電話 〇六(六三四九) 一六五一  
FAX 〇六(六三四九) 七二二八

**富安株式会社**  
代表取締役社長 川合正明  
東京都墨田区太平四―五―一五  
電話 〇三(五六一一) 七七七〇  
FAX 〇三(五六一一) 七七六〇

**東都金属印刷株式会社**  
代表取締役社長 菅谷誠一  
千葉県船橋市小野田町一五二―三  
電話 〇四七(四五七) 五四六一  
FAX 〇四七(四五七) 七二三八

**株式会社N・P・W技研**  
代表取締役社長 山本亮太  
三重県伊勢市佐八町八九四  
電話 〇五九六(三九) 一一三三  
FAX 〇五九六(三九) 一一三六

**大貫金属工業株式会社**  
代表取締役社長 大貫雄一  
東京都葛飾区東新小岩  
五一―七―二  
電話 〇三(三六九二) 六一七九  
FAX 〇三(三六九二) 六一七九





**東日本一般缶工業協同組合**  
**CPSM会**

令和6年4月10日千葉カントリークラブ野田コースで今回は理事長杯取り切り戦を兼ねた第74回CPSM会を開催した。参加者は20人。

上位入賞者は次の通り。

優勝	中村 匡宏氏 (神宮製作所)	39
二位	菊井 洋祐氏 (富安金属印刷)	41
三位	最上 裕光氏 (最上CAN)	84

理事長杯  
優勝 中村 匡宏氏  
(神宮製作所)



右が中村氏  
左が廣濱氏

シニア杯  
優勝 廣濱 泰久氏  
(ヒロヤマ)

47	49	96
12	84	

今回は令和6年秋に開催予定。



CPSM会参加の皆さん

**西日本一般缶工業協同組合**  
**缶友会ゴルフ会**

令和6年5月16日奈良県の奈良国際ゴルフ倶楽部で第162回のゴルフ会を開催した。

上位の入賞者は次の通り。

優勝	増田 竜介氏 (井上博商店)	44
二位	田中 信吾氏 (三幸商事)	44
		15.6
		72.4

三位 小島 善男氏  
(中村商事)

今回は令和6年10月に行う予定。



缶友会ゴルフ会参加の皆さん

**東日本一般缶工業協同組合**  
**令和6年2月から7月までの行事**

令和6年

- 2/6 全国組合士協会連合会
- 「第1回組合士活性化研究会WG」
- 「第43回優良従業員表彰式」
- 正副理事長会議
- 生産性向上支援訓練
- Webセミナー(Zoom)
- 事務局長協会「理事会」
- 東京中央「令和5年度下期情報連絡員報告会」
- CPSM会会議
- 組合士協会
- 「正副会長会議」常任理事会
- 「事務説明会(浅草税務署)」
- 事務局長協会「68回定期総会」
- 第6回理事会(ハイブリッド)
- 監事会
- 第74回CPSM会
- 第1回理事会(ハイブリッド)
- 東京中央「支援事業説明会」
- 東京中央
- 「役員・評議員合同会議」
- 正副理事長会議
- 第46回通常総会
- 東京中央「第72回通常総会」
- 東京中央「第72回通常総会」
- 「算定基礎説明会」

**西日本一般缶工業協同組合**  
**令和6年**

- 7/5 第2回理事会
- 3/26 役員会
- 5/16 缶友会ゴルフ会
- 5/22 第56回通常総会
- 6/3 合同部会

**全日本一般缶工業団体連合会**  
**令和6年**

- 2/19 「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」
- 業界向け説明会(teamS)
- 第3回理事会(役員会)(Zoom)
- 3/27 第5回全日本一般缶PR活動推進協議会(Zoom)
- 4/5 第1回全国流通委員会・部会協議会運営委員会(Zoom)
- 4/11 「一般缶インベションフォーラム2024」第1回運営委員会(Zoom)
- 4/24 第2回全国流通委員会・部会協議会運営委員会(ハイブリッド)
- 5/14 「一般缶インベションフォーラム2024」第2回運営委員会(ハイブリッド)
- 5/15 会計監査
- 5/24 第1回理事会(役員会)(Zoom)
- 6/7 第46回定時総会
- 6/7 第47回全国流通委員会・部会協議会
- 6/19 「一般缶インベションフォーラム2024」第3回運営委員会(Zoom)
- 7/5 「一般缶インベションフォーラム2024」
- 7/9 全国十八リットル缶工業組合連合会「第24回フォーラム18」
- 7/26 スチール缶連絡協議会

**令和6年8月から令和7年1月までの行事予定**

- 8/28 第3回理事会(ハイブリッド)
- 8/28 納涼会

**西日本一般缶工業協同組合**  
**令和6年**

- 10/17 人材育成委員会「工場見学会」(エヌエス金属工業株)
- 10/下旬 第75回CPSM会
- 11/22 第4回理事会・忘年会
- 令和7年
- 1/17 正副理事長会議
- 1/17 第5回理事会

**東日本一般缶工業協同組合**  
**令和6年**

- 8/2 役員会
- 9/12 大阪府中央会大会
- 10/中旬 4S会
- 10/下旬 缶友会ゴルフ会
- 11/中旬 合同部会
- 12/6 役員会
- 令和7年
- 1/7 組合新春懇親会
- 1/23 合同部会・技術交流会

**全日本一般缶工業団体連合会**  
**令和6年**

- 9/未定 経済産業省金属課
- 12/4「令和6年度般缶業況ヒアリング」(エプロ2024) 共同出席
- 令和7年
- 1/未定 二役年開始挨拶回り
- 1/17 第2回理事会(役員会)
- 1/17 令和7年新年賀詞交歓会

**組合伝言板**

《代表者交代》  
(東日本組合員)  
佐野製缶株  
代表取締役社長 佐野 正明氏  
令和6年3月

(西日本組合員)  
平和製缶株  
代表取締役 八十 弘明氏  
令和6年6月

(特別賛助会員)  
JFEスチール株  
代表取締役社長 広瀬 政之氏  
令和6年4月

(東日本協力会員)  
株)日本金属印刷所  
代表取締役社長 若松 幹雄氏  
令和6年4月

JFE商事プリキセンター株  
代表取締役社長 田中 和哉氏  
令和6年4月

《脱退会員》  
(東日本組合員)  
加藤製罐株  
株)江東堂高橋製作所  
令和6年3月31日

令和5年12月～令和6年5月までの一般缶生産出荷実績				
年月	生産	出荷		在庫
		販売	その他	
5. 12	5,093 (5,494)	5,495 (5,469)	21 (21)	11,991 (11,168)
6. 1	3,955 (4,084)	4,758 (4,140)	2 (20)	11,182 (10,775)
2	3,279 (4,228)	3,247 (4,097)	20 (21)	8,672 (10,876)
3	3,716 (5,406)	4,069 (5,332)	20 (1)	9,610 (10,944)
4	4,055 (4,373)	3,453 (4,387)	1 (1)	10,203 (10,928)
5	3,698 (4,396)	3,938 (4,199)	(41)	9,940 (11,159)

年月	生産	出荷		在庫
		販売	その他	
5. 12	3,324 (3,684)	3,612 (3,813)		7,831 (7,350)
6. 1	2,860 (2,977)	3,213 (3,088)		7,467 (7,098)
2	2,821 (2,907)	2,919 (2,821)		7,467 (7,243)
3	2,676 (3,030)	2,759 (3,150)		7,451 (7,203)
4	2,940 (3,182)	2,802 (3,206)		7,566 (7,176)
5	2,831 (3,039)	2,820 (2,921)		7,564 (7,286)

( )内は前年同月実績  
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載